


海外短期プログラム参加者 報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	香港中文大学 (国名: 中国)	
参加プログラム名	香港中文大学インターナショナルサマースクール	
プログラム期間	2017 年 8 月 4 日 ~ 2017 年 8 月 26 日	
学部/学府・年次	経済学部 経済経営学科	2 年次
参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → <input checked="" type="radio"/> 有 無 「有」の場合、免除額を記入してください(約18万円)	
	航空運賃はいくらかかりましたか? (往復 約4万円)	
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例: 教材費、宿舎費、オプションの見学旅行など)	
このプログラムを選んだ理由	もともと、海外留学はしたいという漠然とした思いがあり、英語の留学にするか第二外国語である中国語の留学にするか迷った結果、新たなことに挑戦してみたいと思い、中国語の留学にしようと思ったことがきっかけです。香港は、広東語が話されており、私たちが大学で学ぶ標準語ではありませんが、治安もよく、安全面などを考えてこのプログラムに参加しました。また、集団で行く短期プログラムは参加したくなかったし、九大の推薦を貰えれば授業料が免除される面も魅力的でした。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()月から) 2. 大学院進学 3. その他(具体的に:)	

1. 参加プログラムと大学について	
プログラム(カリキュラム等)の概要について	<p>このプログラムでは、主に3つのレベルに分かれて授業が行われます。また、レベル1のコースに関しては、さらに2つのレベルにわかれます。</p> <p>授業の時間構成としては9:00~12:15、2:30~4:15となっており、私のクラスでは、文法の先生とオーラルの先生の2人体制で1日交代で授業が行われていました。また、1番上のクラスではプレゼンテーションの発表もしていました。課題も出て、最終日には期末テストがあります。</p>
主催大学のサポート体制について (語学面/勉強面/精神面/住居・生活面など)	<p>全てにおいて特に困ったということはありません。特に、語学、勉強においては満足しています。ただ、お風呂とトイレが共用で掃除があまり行き届いていなかったかなと思いました(1日1回はちゃんと掃除されていますが)。</p> <p>また、他の面のサポートとして、オーシャンパークという香港のディズニーランドに並ぶテーマパークのチケットを貰いに行けば無料でもらえるということもありました。全てのエリアに入ることができる高めめのチケットだったので、すごく驚きました。</p>
プログラムおよび大学に対する感想	<p>このプログラムでは、平日は授業、土曜日はマカオや深圳へのツアー、日曜日は自由時間と充実したスケジュールでした。また、京劇の上演が学内であったり、抽選制ですが、石を掘って判子をつくる体験や中国式の餃子をつくる体験もありました。</p> <p>授業も日本の授業と違って中国語をペアの人と話す機会も多く、より実用的なことを学べました。大学については、香港中文大学は敷地が広く、大学内を走っている循環バスに慣れるのにも一苦労しました。しかし、その分昼休みには大学内にあるたくさんのカレッジの学食に挑戦してみたり、きれいな写真が撮れるスポットにも行ったりといろんな体験ができました。</p> <p>留学の目的だった中国語の習得ということ以外にも、香港の文化を知る、中国本土と香港の違いを知る、香港に残るイギリスの文化を感じる、など様々なことが得られました。最初、広東語話者が住む香港に行くことを少し悩みましたが、乗っている地下鉄での会話やレストランでの注文など、同じ中国でもこんなにも違うのかと思いました。治安や文化などいろんな面を考えて、香港でのプログラムを選んでよかったと思います。</p>

<p>同じプログラムを希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>私はプログラムに参加してからは特に困ったことはありませんが、行くまでに苦労したことが多々あります。特に、向こうの大学から送られてくるメールをよく読んでいなかったせいで VISA の申請書類を提出するときは留学生課の方々にたくさん迷惑をかけてしまいました。アドバイスとして私が 1 番言えることは、向こうからのメールは早めに目を通すということです。特に「VISA ができたから必ず届く住所を明日の午前 9 時までに教えてほしい」というメールが来たとき、テスト中でなかなかメールを見ることができず、慌ててメールを送ったこともあったので、早め早めに見る努力をした方がいいと思います。</p> <p>あと、香港は広東語なので、ローカルなお店など行くときは広東語を話せる人を連れていくのがベターです。英語が通じないお店もあります。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>学生 VISA</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>香港中文大学に提出して、その後は大学がしてくれました。</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>VISA の申請書類に加え、大学に提出する VISA を取ることへの承諾書などが必要でした。親のサインが必要なので早めに動いた方がいいです。</p>
<p>手続きに要した時間</p>	
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	<p>このプログラムでは VISA の申請前にクラス分けのテストや、健康調査など様々な手続きが必要でした。また、VISA の申請が終わってもコンピューターアカウントを有効にする手続きなどがあります。</p>
<p>3. 日常生活</p>	
<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>平日は午前中授業、昼休み、午後授業の繰り返しです。香港中文大学は大学の敷地が広く、学内をバスが循環しています。バスの種類がたくさんあるので慣れるのにちょっと時間がかかると思いますが、2 時間ほどある昼休みに学内のいろんな食堂でご飯を食べたりしました。休日や放課後は友達と旺角や中環に行ったりして、お買い物や香港の飲茶などを堪能しました。もちろん、テストや宿題も出るので、寮で勉強する日もありました。インターナショナルサマースクールということで、約半数は日本人でしたが、カナダやイギリス、オーストラリア、韓国、イタリアなど様々な国から参加者が来ていました。私のルームメイトはイギリス人で、中国語の他に英語も話す機会が得られてとてもいい経験になりました。</p>
<p>生活費(全期間)及びおおよその内訳</p>	<p>私は念のために8万円ほど両替しましたが、実際使ったのは、5万円ちょっとくらいでした。交通費は日本よりもはるかに安く、ローカルなお店でのごはんも安いですが、飲茶などはやはり高めです。あとはお土産の量によると思います。6万くらいあった方が安心だと思います。</p>

日本から持参した方がよいもの (PCや変圧器等の要不要も)	プラグは日本のものと形が違うので必須です。電圧は220V ですが、PC やスマホも対応しているものも多いと思うので、電圧器は必要ないかもしれません。PC は、パワポを使用する授業もあるので持って行った方がいいと思います。あと、折り畳み傘を持って行ったのですが、大学側から香港中文大学の T シャツと共に折り畳み傘もプレゼントされたので、もしかしたらいらないかもしれません。
日常生活 (治安対策を含め) に関するアドバイス	香港は基本的に治安は悪くないと思いますが、旺角の女人街などは人が多いので、スリなどには気を付けた方がいいと思います。寮も入口と部屋はルームキーがないと入れないくらいセキュリティーは良かったので、パスポートはスーツケースに入れて部屋に置いていました。しかし、深圳に行くツアーの時は、カードは読み取られるから持って行かない方がいいとアドバイスされました。深圳は香港より治安悪いところがあるので気を付けた方がいいかもしれません。
お金の管理や受け取り (銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など) について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	私は、香港に着いたとき空港で8万円両替して、あとは持ってきていた日本円で生活しました。私は海外でお金を引き出した経験がありませんでしたし、引き出すところが近くにあるかどうかもわからなかったため、一応3週間これだけあれば足りるという額を最初に両替しました。結局、引き出しとかはしませんでした。深圳ツアーのときに人民元への両替が必要だったので両替はしましたが、大学駅から2つの沙田というところに TA が紹介してくれた両替屋さんがあったので、そこでしました。
4. 宿舎、生活環境	
宿舎の種類 (○印をつける)	・大  の寮 ・ホテル・その他 ()
立地	立地は大学駅から校内の循環バスに乗って15分くらいのところ。駅からバスで坂道を結構上った所にあります。
伝えたい地域情報、生活情報	特にありません。
5. その他の特記事項	
特にありません。	